

# 育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター  
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内  
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 4113

## 【児童・生徒の教育相談】

- \* 相談日・時間  
土・日曜日及び祝日を除く毎日  
AM9:00～PM5:00
- \* 場 所  
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）  
教育相談センター  
電話相談・面接相談 273-5105（直通）  
(秘密厳守)

## 【青少年の生活相談】

- \* 相談日・時間  
原則として月・水・金曜日とします  
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- \* 場 所  
千曲市役所（新庁舎） 4階  
少年育成センター（生涯学習課内）  
電話相談・面接相談 273-1111（内線 4113）  
(秘密厳守)

### 今月の家庭の日 12月15日（日）

師走、気忙しく時が過ぎがちです。家の掃除や片づけなど、新しい年を迎える準備を家族一人ひとりが協力して行い、互いに助け合い、協力できる家庭づくりに努めましょう。

### メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp

相談員がメールでお答えします。  
(秘密厳守)

ザリガニ事件から

戸倉地区少年補導員

台風の翌日、近所を見回っていると、3〜4年生くらいだろうか、男の子が二人、側溝で何かを夢中で取っている。最近見ない光景だとほほえましく思った。20分ほどしてまた通りかかったので、「何が取れるんだい？」と近寄るとなんと、着ている服はずぶ濡れで、足首は擦り傷で血が出ている。男の子は「さびー、さびー！落っこちた！」と震えている。なにしろ、風が強いのだ。みれば、1、3メートルもある水路に転がり落ちたのだった。急いで、車に乗せて家まで送ろうとしている時、もう一人の男の子がお母さん呼びに行っていて戻ってきた。お母さんはゆっくりゆっくり歩いてきて、男の子をしっかりとらせた。「何やってるの！馬鹿だね！早く、帰るよ!!」ちよつと、意外に思ってみていたが、男の子は足を引きずりながら、お母さんの後からついて帰って行った。腕白盛りの男の子を持つお母さんだから、こんなこと日常茶飯事なのかもしれないと思いつつ、見送った。水路には真っ赤なザリガニがハサミを立てて歩いていて、「お前は難を逃れたのかい。」と笑いながら声をかけた。

20年以上も前になるだろうか、作家の吉本ばななさんと心理学者の河合隼雄さんの対談を思い出した。ばななさん、「いのちがひやっとする体験を小学校時代何度も経験しましたね。たとえば、傷のある手で泥水をかき回したり、屋根から屋根に飛び乗ったり・・・」河合さん、「ほく、ご両親は知っていたのですか？」ばななさん、「いいえ、まったく。放課後は子供だけの世界でしたし、その頃のひやっとする体験が今の私の作家の原点でして」最近では危険ばかり避けて、子供の大切な体験を取り上げてはいないだろうかと思いついた出来事だった。

## ～ 11月の定例補導委員会議より～

11月1日に、定例補導委員会が開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

### 1. 千曲警察署生活安全課より

声かけ事案が10月だけで8件発生した。数字をみると大変な数になっている。事案については「ライポくん安心メール」を通じて、市民の皆様にもお知らせしているが、一層注意していただき、パトロールをお願いしたい。

### 2. 11月強調月間にかかわる街頭啓発活動：11月1日（木）しなの鉄道屋代駅にて実施

※地域振興局・千曲警察署・少年警察ボランティア・生涯学習課、補導委員会（会長）の参加。

### 3. 8・9月補導日誌より：巡回して気がついた点や子どもたちの良いと思った点などをご指摘いただきありがたい。公園などの草の伸びに注意が必要な時期です。環境等で気になる点がありましたらご指摘いただくとありがたい。

### 4. 声掛け事案の認知状況について

### 5. 11月～2月の補導計画の確認：定例の補導巡回は午後3：00～5：00、青パトで巡回。

・11月は、環境チェック活動及び必須店舗調査。

・12月は、八幡の武水別神社「大頭祭（10日～14日）」中の特別巡回も実施：10日～13日の4日間

### 6. 補導委員視察研修 11月29日（金）

長野市篠ノ井児童養護施設 円福寺「愛育園」 千曲市稲荷山児童養護施設「恵愛」の視察、研修

### 7. 青少年健全育成県民大会への参加 11月2日（土）東御市訪市文化センター



## 補導日誌から



### 注意して見守っていきましょう！

10月4日（金） 4:00pm～6:00

屋代駅では駅員さんより、「学生の乗車マナーが乱れていると乗客よりクレームがあり、その旨、学校には連絡した」との話がありました。屋代高校前駅でも、「挨拶ができない子が多い、声をかけても返ってこない」との指摘がありました。我々も注意して見守っていく必要があると思います。工業団地入口は誰もいませんでした。ここを經由する通学路は見通しが悪いこと、歩道が狭いこと、学校までの距離が長いこと等、問題が多く周囲の見守りが特に必要な通学路だと思います。

### 暗くなるので気をつけて！

10月7日（月） 4:00pm～6:00

女沢公園は不審者の出没があることから立ち寄りましたが、誰もいませんでした。戸倉東公園では小学4年生の男子3人が自転車と犬を連れて遊びに来て、午後5時まであと10分と言いながら元気に遊んでいました。来るまでの行動を見ていたら道路でふざけながら来たので、道路では事故のおそれがあるので注意したところ素直に返事をしてくれました。

### 若いっていいなー！

10月9日（水） 4:00pm～6:00

内川公園では高校生男子2人がバスケ、五加小男子5人がゲーム。お母さんと女子3人、戸上中男女が冷たい風の中でも元気に遊んでいました。『若いっていいなあ』とつくづく思いました。小船山公園では県の防犯パトロールの方が2名パトロールをされていました。こんな遠くまでパトロールに

来ていただいているのがわかり、安心して暮らせると感謝をしました。五加小の4人の女の子が寒い風の中、椅子に座って話をしていました。中央公園には埴生中1年と2年のサッカー部員が元気にサッカーをしていました。県大会では3位になったそうです。新人戦に向けて頑張っているそうです。

### 火事場泥棒に気をつけましょう！ 10月21日(月) 4:00pm~6:00

台風19号により被害を受けられた皆様に、お見舞いと1日も早い復旧を願い巡回をしました。屋代駅前交番で「長野市では、台風に伴い火事場泥棒的な不審者情報があるようです。千曲市では今のところなく、もし情報があったら提供をお願いします」との事でした。ふれあい公園には家族連れ、親子連れが楽しく遊んでいました。東小学校には1組の親子連れが楽しくサッカーをしていました。

### 台風が去ったあと・・・ 10月21日(月) 4:00pm~6:00

今回は、幹線道路ではなく、芝原から若宮の山際の狭い路地をあえて通ってみました。青パトの巡回が地域の安全・安心につながればいいなと思いつつ。台風19号の被害から10日、巡回してみると河川敷は、いつもとは異なる様相を呈していました。水辺の楽校付近の土手には増水した川の水が引いてプラスチックやペットボトルのゴミがおびただしい量、土手にへばりつくかの様に残されていました。この場所だけでもこんなに沢山あるのに、このゴミが海に流れていくのだから廃プラの被害は想像以上だと感じました。今回の台風の被害で、改めて千曲市防災ガイドブックを見直してみました。私の幼い頃で一番怖かったと記憶しているのは、伊勢湾台風です。今回の台風19号は、子ども達の記憶にどう残るのでしょうか。家族でガイドブックを見て話し合うのも必要かなと思いました。

### 元気な声が聞こえるといいね！ 10月23日(水) 4:00pm~6:00

小船山公園には中学生7名がバスケットボールの練習をしていて、「こんにちは」と声を掛けるとしっかりと返事を返してくれました。すべり台と乗り物の遊具では、小学生15名が元気よく遊んでいました。内川公園では中学生5名がバスケット、中学生3名がサッカーをして遊んでいました。子供たちの元気な声が聞こえるといいですね。

## 編集室の窓

### 台風19号が去って



10月の台風で被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

台風19号の被害は東日本の広い地域に深い足跡を残しました。長野市の豊野・長沼・古里地区では、千曲川が決壊し、流失や床上1.8m以上の浸水があった『全壊』が824戸におよび2名の尊い命が奪われました。長野市全体でも10月28日時点で、床上浸水(3305戸)、床下浸水(1781戸)という報道もされました。全国からボランティアの方が泥の片付けに来てくれているというニュースも流れました。

千曲市でも、床上浸水(451戸)床下浸水(1202戸)、被害児童(75名)、被災生徒(101名)と近年にはない大変な被害となりました。今回の補導日誌にも台風19号の災害に関わる事が載せてありました。「水辺の楽校」の様子から再度千曲市の防災ガイドブックを見直して見たという補導委員さんもいらっしゃいます。大切なことだと思います。皆さんも改めてガイドブックを読み直してみたらいかがでしょうか？

さて、千曲市の警察署の方から10月は今までになく、声かけ事案が多かったという報告がありました。どんどん暗くなる時間が早くなってきています。『声かけ』についても家庭で話をしていただけるといいなと思います。子どもたちが元気に外で遊ぶのはとてもいいことですが、反面、暗くなるので早めの帰宅も必要かなと感じました。

※被災情報は、11月15日の千曲市HPより

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

わたしのゆめは、「フラダンスの先生」です。わたしはいまフラダンスをならっています。フラダンスをおどっているとワクワクしてたのしくなります。えがおでやさしい、おどっているひともえがおにする先生になりたいです。 (1年 菊池 蓮花)

わたしは大きくなったら「ほいくし」になりたいです。どうしてかということ、赤ちゃんや小さい子のおせわをしたいからです。わたしのほいくえんのかの先生はやさしい先生だったので、わたしもやさしい先生になりたいです。 (1年 土肥 沙弓)

ぼくのしょうらいのゆめは、「たてぐやさん」になることです。どうしてかということ、ぼくのお父さんがたてぐやさんで、1年生の時に、お父さんの工場に行ったことがあるからです。それから、ぼくは何か作ることが好きだからです。大人になったらお父さんの手つだいをして、たてぐやさんのしごとをうけつぎたいです。 (2年 荒井 大夢)

わたしのゆめは、「デザイナー」になることです。わたしは、ふくの絵をかくのが大好きだからです。だから、みんなにすてきなふくをデザインしたいです。モデルさんやいろいろな人に、デザインしたふくをきさせたいです。もしデザイナーになったら、すてきなドレスを作ってみたいです。いろいろな色で、いろんな形のふくを作りたいです。 (2年 岡村 美桜)

わたしのゆめは、「通やくの人」になることです。わけは、ニュースで、国と国が話し合うとき、通やくの人が日本語にかえて話したり、外国の人にその国の言葉にかえて話したりするのを見て、すごいなあと思ったからです。大きくなったら、いろいろな外国語をべんきょうして、日本の人に、いろいろな話が分かるように通やくしたいです。 (2年 松本 涼花)

わたしのゆめは、「ネイリスト」です。そのわけは、友だちのお母さんが、私のお母さんのつめをきれいにしているのを見て、私もやってみたいと思ったからです。つめを海の色にしてディズニーキャラクターのニモをつけたいです。きれいなつめにして、えがおになってももらいたいです。 (3年 大久保 のあ)

ぼくのしょう来のゆめは、「バスケットせんしゅ」です。そのわけは、バスケットのしあいを見ていて、おもしろそうだなと思ったからです。ぼくは、それでやってみたくてバスケットを習い始めました。はじめは、むずかしかったけれど、なれてくるととても楽しいです。これからもバスケットをつづけていって、おとなになってもやっていきたいです。 (3年 小川 大空)

ぼくのしょうらいのゆめは、「おぼうさん」です。ぼくの家は、大雲寺という大きなお寺です。ぼくのおじいちゃんとお父さんは、おそうしきでおきょうをよみます。いのちを天国におくる大切な仕事をしています。ぼくも、いっぱいべんきょうをして、りっぱなおぼうさんになりたいです。 (3年 田村 大慧)